

『努力点目標』

根拠をもった「やってみたい」を見つけよう！
～個人の思いや成長段階に合わせた児童の
自己選択・決定を促す導入活動の工夫～



今年度は、導入に的を絞り、単元の最初で、児童がやりたいことを見付けることができるように実践に取り組んでいます。その際に、児童が根拠をもって自己選択・決定できるように活動を工夫することでテーマに迫っていきます。今回の努力点だよりでは、前期に行った実践について紹介します。

【前期の取り組みの様子】

【6月12日(水)3年3組 総合的な学習の時間】

単元:「学区のよさを伝え合おう」

内容

学区のよさについて紹介したいと思った理由を述べさせ、友達と意見を比較できるようにしたことで、自分の「やってみたい」に明確な根拠をもたせることができました。



【前単元を振り返りしている様子】

【6月27日(木)4年2組 総合的な学習の時間】

単元:「10才のわたしにできること～環境問題について考えよう～」

内容

ICTを活用し、環境問題の画像を見せることで危機感をもたせました。また、図書資料やインターネットの資料を示し、それを調べることで、なぜ、その環境問題について調べたいと思ったのかの根拠をもつことができました。



【児童が調べている様子】

【7月4日(木)6年3組 総合的な学習の時間】

単元:「武将推し活プロジェクト」

内容

武将についてのクイズを出題し武将たちの生き様や業績を調べることに興味をもたせました。また、自分が調べたいと思う武将(推し)を選び、なぜその武将について調べたいのかを考えました。



【クイズに取り組んでいる様子】

【7月5日(金)たんぼぼ組 総合的な学習の時間】

単元:「おみせやさんをよう」

内容

活動内容を表した図やフローチャート、テンプレートを提示し、「お店屋さんを開く」という目的意識をもたせました。仲間と協力して計画を立てる活動の中で、店名やお知らせを考えました。



【活動内容についての説明を聞く様子】

【9月9日(月)6年2組 総合的な学習の時間】

単元:「市内の史跡めぐりをしよう」

内容

名古屋市内の史跡について知るクイズを出題し、市内に残る史跡がなぜ大切にされているのかを考えました。それを基に、なぜ、その史跡に魅力を感じるのか、明確な根拠をもたせることで、自分が調べたいと思う史跡めぐりのコースを選択しました。



【根拠を説明している様子】

【9月12日(木)2年1組 生活科】

単元:「つくる楽しさはっけん」

内容

身近にある物を使ったおもちゃクイズや、おもちゃをつくることによって、自分で決めたおもちゃを『作ってみたい』と気持ちを高め、理由のある『やってみたい』を見付けました。



【クイズに取り組んでいる様子】

【9月16日(火)6年1組 総合的な学習の時間】

単元:「修学旅行を成功させよう」

内容

ロイロノートを活用し「知りたいな♪はんなり京都!」というテキストを使い、自分の考えを整理・交流することで、気持ちを高め、知りたい場所を選ぶにあたっての根拠をもつことができました。



【友達と交流している様子】

前期実践の成果と課題

前期実践での成果(○)と課題(●)は以下の通りでした。今後も、前期での実践を生かし、よりよい学習に向け取り組んでいきます。

- ロイロノートの共有機能を活用することで、友達の影響や見方を取り入れることができた。
- 他者のよいところを考えさせることが、児童本人の根拠をもつことにつながる事ができた。
- ワークシートを工夫することで、学習の見通しを児童にもたせることができた。
- 児童が身近なこととして捉えることができるように、資料や画像を示していくことは、自分事として課題をもたせるには有効であった。
- クイズを出題しながら解説していくことで、児童の「やってみたい」という意欲を高めることにつながる事ができた。
- 活動のキーワードとなる言葉の意味を共通理解させる時間を確保することで、児童が今後の学習の見通しをもつことができた。
- スムーズに活動できるように時間配分を調整すると、よりよい学習につながる。
- 資料の活用は、展開の順序を工夫することでより効果的になるといえた。
- 児童が今後調べることを決定する場面において、基準を示すと選択しやすいといえた。

